

平成26年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで以下の2つの問いに答えなさい。

沖縄県は島嶼*県で東西約 1,000 km, 南北約 600 km の広大な海域に点在する 160 の島々から構成されており, そのうち, 有人島は 49 島, 無人島は 111 島となっている。これらの島々は日本の経済水域や海洋資源の確保等に大きな役割を果たしているほか, 豊かな自然環境や文化・歴史的遺産は国民の健康保養や癒しの場を提供するなど, その重要性はますます大きくなっている。

特に, 沖縄諸島は亜熱帯気候に属し, 植物や動物など多種多様な生物が存在し, 独特の豊かな自然生態系を形成している。しかしながら, その気候, あるいは島嶼性等による特徴的な (1)食糧問題, (2)エネルギー問題および (3)環境問題が顕在化しているのも事実である。また, (4)これらの問題の中には, 沖縄県のみならず, 他の熱帯・亜熱帯地域の島嶼国において共通する課題も多く, 地球規模での解決が必要となっている。

* 島嶼 (とうしょ) : 大小様々な島からなる地理的環境

問1 下線部(1), (2), (3)の問題に関して, 沖縄諸島における具体的な事例をそれぞれ示しながら, その解決の方向性について農学を学ぼうとする者の立場から, 全体で700字以上, 800字以内で論じなさい。それぞれの問題どうしを関連づけて論じてもよい。

問2 下線部(4)に関して, 特定の国や地域だけでなく地球規模で問題解決を図っていくうえで必要な取り組みや考慮すべき点について300字以上, 400字以内で論じなさい。

平成26年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

出題の意図

この小論文の課題は、本学科のアドミッションポリシー、「生物生産と自然環境との調和を目指す」に直接関連する内容を記述させるものである。また、これはその他のアドミッションポリシー「生物資源・環境の機能や特性の解明」、「生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献」にも通じる課題である。論述を通して、自然環境と第一次産業との関わりについての認識を問うとともに、地域から地球規模での問題点の抽出ならびに論理的な考察、建設的な提案ができる能力を備えているかどうかを評価する。